

地域の防災リーダーを育成



羽村市町内会連合会主催 防災リーダー講習会 が開催されました

羽村市町内会連合会について

羽村市には39の町内会・自治会があります。

羽村市町内会連合会は、これらの町内会・自治会により構成され、それぞれの自主性を尊重しながら、町内会相互の連絡協調を図り、住民の福祉の増進と「住みよいまちづくり」に寄与することを目的として活動しています。

近年、市民の価値観やライフスタイルが変化する中、ご近所どうしの交流が少なくなり、地域の活動に参加する人も減ってきていると言われています。

そのような状況にはありますが、東日本大震災の教訓を踏まえ、いざという時の対応をはじめ、地域での犯罪や交通事故の防止など、町内会・自治会が地域の交流や助け合いに重要な役割を担っていることが再認識されてきています。

今回は、町内会連合会が主催する取組みの一つ、「防災リーダー講習会」についてお伝えします。

防災リーダー講習会

羽村市では、町内会・自治会の中に自主防災組織が結成され、日ごろから防災訓練などを実施し、防災意識の高揚を図っています。

地域の中に、防災に関する知識や技術を持った人材が増えれば増えるほど、いざという時の防災力が高まることとなります。

羽村市町内会連合会では、こうした人材を育成するため、福生消防署や消防団の協力を得て、平成元年から防災リーダー講習会を開催しています。

今年は、6月16日に開催し、各町内会・自治会から推薦された72人が参加しました。

講習会では、普通救命講習・AED(自動体外式除細動器)の操作方法・消火栓を使った消火訓練などの訓練を実施し、受講者には普通救命技能認定証と防災リーダー講習会終了証が交付されました。これまでの講習会修了者は延べ1,367人になりました。

「東京防災隣組」に認定されました

羽村市町内会連合会は、地域防災力の向上を目指した様々な取組みが評価され、東京都の「東京防災隣組」に認定されました。

「東京防災隣組」とは、東京都が、意欲的な防災活動を行う団体を認定する仕組みで、多摩地域から選出された10団体の内の一つとして、第一回の認定を受けました。

災害時には、地域で共に助け合う「共助」が重要であると言われてい

ます。羽村市町内会連合会が行う、今後の取組みに期待です。



消火栓を使った消火訓練

また、11月には、町内会・自治会長、防災部長を対象とした避難所開設運営訓練を計画しています。

町内会連合会は、万が一の災害に備え、「地域防災力」を高め、「地域のきずな」を強めていきたいと考えています。

AED操作訓練



普通救命講習